

2013年4月12日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

野村アセットマネジメント、「日本版 ISA に関する意識調査」結果を発表

～日本版 ISA をきっかけとした投信市場の裾野拡大に期待～

野村アセットマネジメント株式会社(CEO 兼執行役会長兼社長:岩崎俊博)は、2014年1月から始まる少額投資非課税制度(日本版 ISA)に関する認知や利用意向について8万人を対象に実施した調査結果を公表した。

調査は、2013年3月にインターネット経由で行い、①全体状況を把握するための事前調査(約8万サンプル)、②投資信託の「現保有者」・「現在非保有であるが保有意向者」・「現在非保有であり非意向者」に絞った投資信託に関する本調査(6,358 サンプル)の二段階で実施している。

主な調査結果は以下のとおりである。

【調査結果の要約】

投資信託に無関心な層に日本版 ISA の利用・検討意向が見られる。
日本版 ISA をきっかけとした投信市場の裾野拡大が期待される。

日本版 ISA に対する認知

少額投資非課税制度(日本版 ISA)に対する認知をきくと、およそ8割が「知らない」と回答。「名前も内容も知っている」とする割合は6%に留まる。

利用意向

日本版 ISA に関して事前説明なしに利用意向を聞くと、「利用したい」・「検討したい」との回答が24%であったが、制度説明後には、4割超が「利用したい」・「検討したい」との意向を示した。

投資商品

投資商品については、全体としては「低リスク型」・「低コスト型」への関心が高い。若年層を除く層では「分配金ファンド型」への関心も高い。また「リスクを抑制したリスクコントロール型」への投資意向も見られる。

投資額

初年度の投資額は平均62万円。全体の45%が100万円の満額投資を想定している。

利用方法

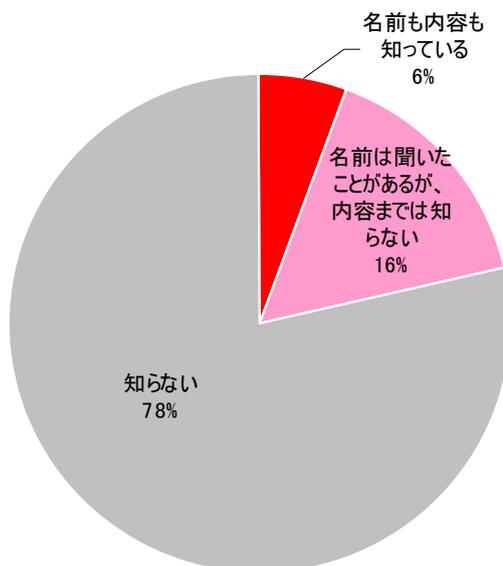
利用方法は、若年・現役世代を中心に「毎月積立投資」による意向が4割程度と高い。一方、シニア世代では「毎年一度、100万円の非課税枠を使い切る」が3割程度。

【調査結果】

日本版 ISA に対する認知

少額投資非課税制度(日本版 ISA)に関する事前の説明はないまま、日本版 ISA に対する認知をきくと、およそ 8 割が「知らない」と回答。「名前も内容も知っている」とする割合は 6%に留まる。

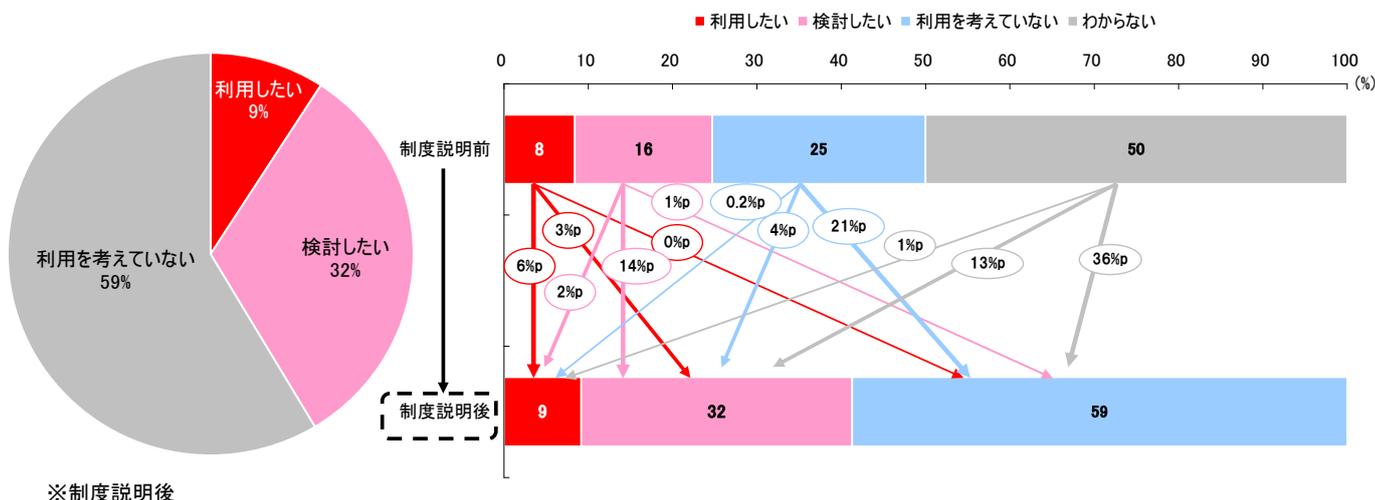
Q) あなたは、少額投資非課税制度(日本版 ISA)について、ご存知ですか。(事前調査 n=81,749)



利用意向

日本版 ISA に関して事前の説明をせずに日本版 ISA に対する利用意向を聞くと、「利用したい」・「検討したい」との回答は 24%程度で、「利用を考えていない」・「わからない」との回答は合わせて 75%程度を占めていた。しかし、制度説明後には、「利用を考えていない」・「わからない」とする回答の約 18%ポイントが「利用したい」・「検討したい」に態度を変化させている。

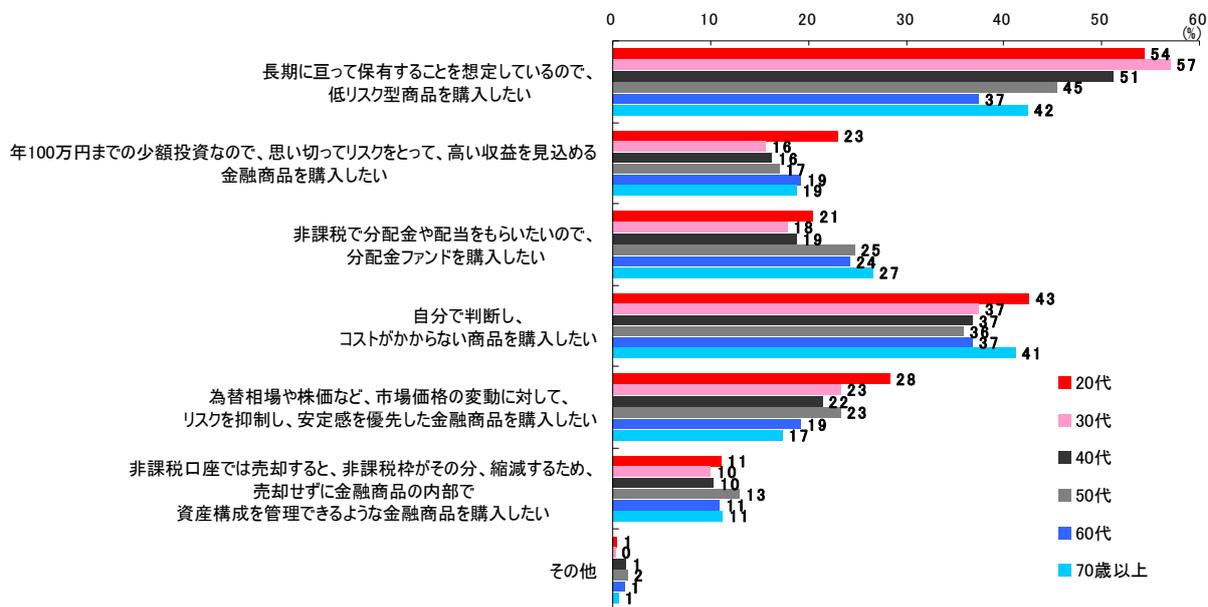
Q) あなたは、少額投資非課税制度(日本版 ISA)が始まったら、利用したいですか。(事前調査 n=81,749)



投資商品

投資商品については、全体としては「低リスク型」「低コスト型」への関心が高い。若年層を除く層では「分配金ファンド型」への関心も高い。また「リスクを抑制したリスクコントロール型」への投資意向も見られる。

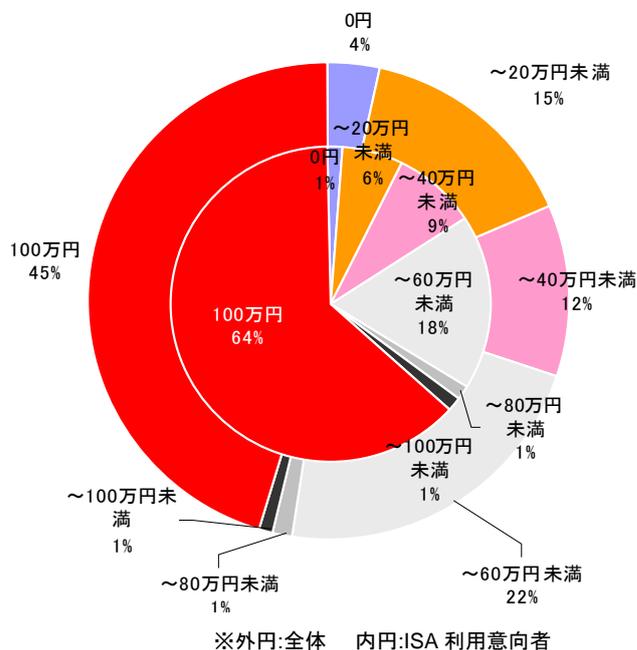
Q) 少額投資非課税制度(日本版 ISA)について、非課税口座ではどのような金融商品を購入したいと思いますか(いくつでも)。※検討している方や利用意向のない方でも、仮に制度を利用とした場合について、お知らせください。(本調査 n=6358)



投資額

初年度の投資額は平均 62 万円、全体の 45%が 100 万円の満額投資を想定している。

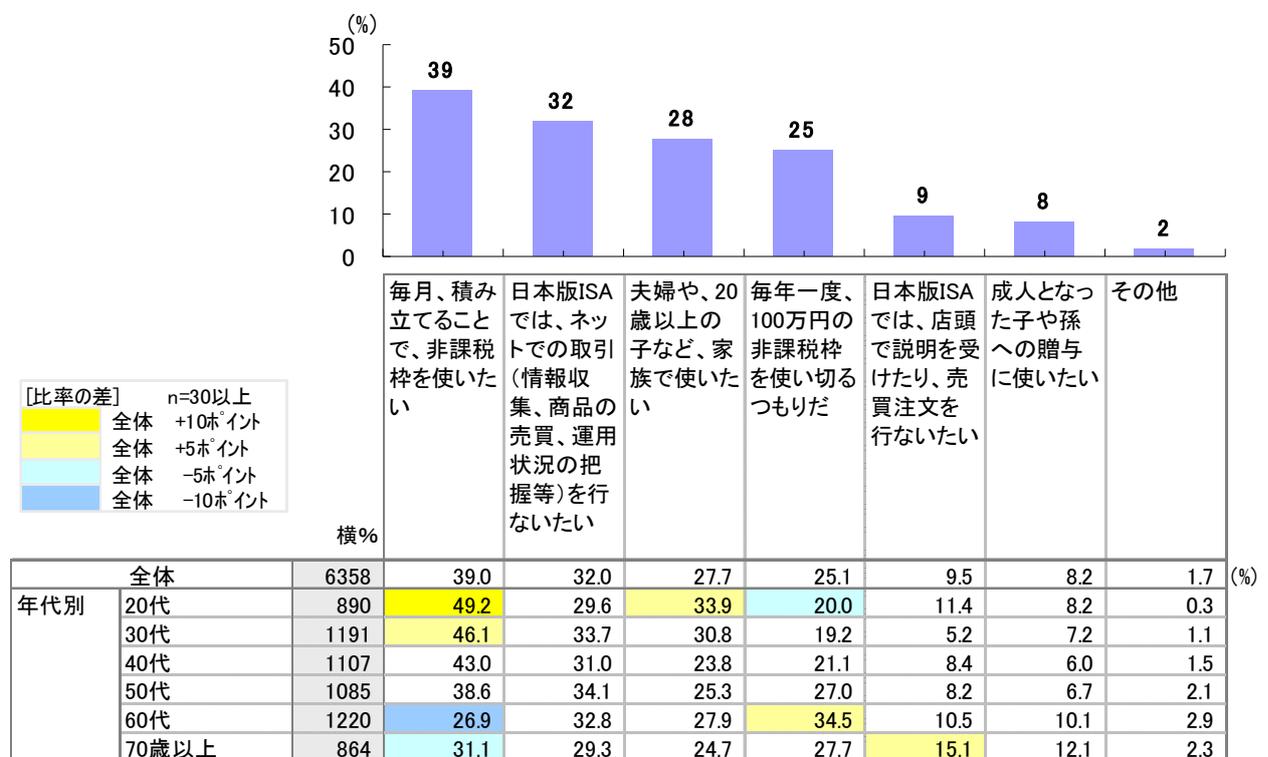
Q) 少額投資非課税制度(日本版 ISA)について、どの程度の金額を投資できますか。(あるいは、投資したいと思いますか) ※検討している方や利用意向のない方でも、仮に制度を利用とした場合について、お知らせください(上限 100 万円による自由記入方式(単位:万円))。(本調査 n=6,358)



利用方法

利用方法は、若年・現役世代を中心に「毎月積立投資」による意向が4割程度と高い。一方、シニア世代では「毎年一度、100万円の非課税枠を使い切る」が3割程度あった。

Q) 少額投資非課税制度(日本版ISA)について、あなたはどのように使いたいと考えますか(いくつかでも)。※検討している方や利用意向のない方でも、仮に制度を利用するとした場合について、お知らせください。(本調査 n=6,358)



【調査概要】

■調査目的

少額投資非課税制度(日本版 ISA)の認知や利用意向などについて事前調査で広く探り、本調査では投資信託の保有者および現在非保有であるが保有意向がある方等を対象に詳細な調査を実施し、ISA 制度の利用方法や投資信託に対する意識を把握すること。

■調査対象

事前調査(サンプル 8 万人):20 歳以上の男女(調査会社マクロミルに登録しているモニター)から 9 万サンプルを対象に調査を実施。そのうち 8 万サンプルを抽出し、日本版 ISA に関する認知や利用意向、保有金融資産額や投資信託を含む金融資産の保有状況などを調査。なおサンプルについて、平成 22 年度国勢調査の性別年代別構成比に合わせ、ウエイトバックというサンプル数補正をおこなった上で集計処理を行っている。また 8 万サンプルのうち、クロス集計用に 3 万サンプルを抽出し分析している。

本調査(サンプル 6,358 人):投資信託の「現保有者」「現在非保有であるが保有意向」「非保有であり意向もない者」をサンプル抽出し、世代別(20 歳代~70 歳代)及び男女別にサンプル数が事前調査でみられた出現率を参考に補正し(ウエイトバック)、6,358 サンプルを集計。

【事前調査サンプル数】

	30代			40代			50代			60代			70代			合計		
	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計												
合計	3,302	3,208	6,511	3,050	3,003	6,054	2,948	2,984	5,931	3,230	3,436	6,667	2,125	2,598	4,722	14,656	15,229	29,885

【本調査サンプル数】

	30代			40代			50代			60代			70代			合計		
	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計												
現保有者	153	153	306	153	153	306	153	153	306	153	153	306	153	153	306	766	766	1,532
非保有者(意向者)	41	41	82	41	41	82	41	41	82	41	41	82	41	41	82	206	206	411
過去保有者	61	61	122	61	61	122	61	61	122	61	61	122	61	61	122	305	305	611
合計	255	255	511	255	255	511	255	255	511	255	255	511	255	255	511	1,277	1,277	2,554

■調査地域

全国(インターネット調査)

■調査時期

2013 年 3 月 1 日(金)~3 月 11 日(月)

■サンプル数

事前調査:9 万サンプルに実施し、81,749 サンプルを抽出

本調査:6,358 サンプル

■調査実施機関

株式会社マクロミル

以上